

太陽系の惑星

をモチーフにしたイラストレーションの制作

篠原研究室 2121118

草川 世生

私は「惑星＝ギリシャ神話」という固定概念を壊すような、見る人に「目新しさ」を感じてもらう為の惑星モチーフのイラストレーションを制作したいと思った。そこで、目をつけた日本神話と五行思想を使って制作し、惑星の作品の中にさらなる新しさを感じて欲しい。それに加えて日本神話という馴染みのないコンテンツに面白さを感じて欲しいという目的も達成したい。

波邇夜須毘売神

鎮星

土星
ハニヤスヒメノカミ

彼女は日本神話における五行思想で言う「土」に適合すると言われる神である。土の力を持って生まれ、粘土を象徴し土器や祭具、埴輪をもたらしたとされている。土星の環を模した土器の装飾のある結合型の弓を二つ所持しており、常に回して祭具の髪飾りを揺らしている。祀られている神社に棒名神社があり、神社で使われる向日葵模様を模した装飾のある振袖を身に纏っている。

大気都比売神

歳星

木星
オオゲツヒメノカミ

彼女は日本神話における五行思想で言う「木」に適合すると言われる神である。殺された直後に五穀をもたらしたとされており、頭部から蚕を生み出している。彼女は木星の特徴である高い吸引能力を宿した宝玉を持っておりあらゆるものから守ってくれる。祀られている神社に上一宮大栗神社と一宮神社があり、神社で使われる稲模様と桜模様を模した装飾のある着物を身に纏っている。

弥都波能売神

辰星

水星
ミズハノメノカミ

彼女は日本神話においての五行思想で言う「水」に適合すると言われる神である。火之迦具土神の火を鎮めるために生まれてきたとされており、火之迦具土神を上回る力を持っている。ミズハノメという神の名には、水が走るという意味合いがあり、水龍をも意味する。そのため、水龍の見た目とその力を持つ神に成った。祀られている神社に金蛇水神社があり、神社にある藤の花の力を装飾品として借りている。

金山毘古神

太白

金星
カナヤマビコノカミ

彼女は日本神話においての五行思想で言う「金」に適合すると言われる神である。刀剣の材料となる鉄をもたらすために生まれてきたとされており、金山と言う鉱山を支配している。彼女は鉄をもたらす神と言うことを隠すために、金の装飾品を身に纏い金の象徴を目指している。祀られている神社に南宮大社があり、神社で使われる三つの勾玉模様を模して、髪や紐の結び方を三つの円になるようにしている。

火之迦具土神

熒惑

火星
ヒノカグツチノカミ

彼女は日本神話においての五行思想で言う「火」に適合すると言われる神である。生まれた直後に十拳の剣で首を切られたとされており、怨恨を抱いた剣の破壊を目的としている。十拳の剣を含めた日本三霊剣に関わりを持つため、三つの剣を抱えている。祀られている神社に火男火売神社があり、神社で象徴される鶴の力で翼を模した髪になり、赤、白、黒で鶴への畏敬を表している。